

令和7年度一般会計当初予算の特徴

1. 当初予算額 703 億 5,600 万円（対前年度当初比 12.7%）

※令和6年度当初予算額 624 億 4,000 万円

2. 市税収入 340 億 1,002 万円（対前年度当初比+4.7%）

○ 主な要因は下記のとおり

- ・個人市民税 対前年度当初比 + 9.9%
- ・法人市民税 対前年度当初比 + 1.2%
- ・固定資産税 対前年度当初比 + 3.5%

3. 歳入予算の特徴

- 個人所得は増加傾向にあり、令和6年度に実施した定額減税の影響と合わせ、個人市民税を増収と見込んだことに加え、新增築家屋の動向から固定資産税を増収と見込んだことなどにより、市税は対前年度当初比で増額となりました。

また、国庫支出金が児童手当交付金や物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金の増などにより増額、寄附金がこまき応援寄附金の増により増額、諸収入が消防指令センター共同運用事業負担金の増などにより増額となりました。

- ・国庫支出金 対前年度当初比 +47.6%
- ・寄附金 対前年度当初比 +82.9%
- ・諸収入 対前年度当初比 +55.5%

4. 財源構造

- ・一般財源比率 59.7%（▲6.4 ポイント（前年度当初 66.1%））
- ・特定財源比率 40.3%（+6.4 ポイント（前年度当初 33.9%））

- ・自主財源比率 63.4%（▲3.2 ポイント（前年度当初 66.6%））
- ・依存財源比率 36.6%（+3.2 ポイント（前年度当初 33.4%））

5. 歳出予算の特徴

- 民生費が、対前年度当初比 15.6%、40 億 6,800 万円余の増となりました。

主な要因は、児童手当支給事業の増などによります。

- 消防費が、対前年度当初比 40.7%、8 億 7,200 万円余の増となりました。

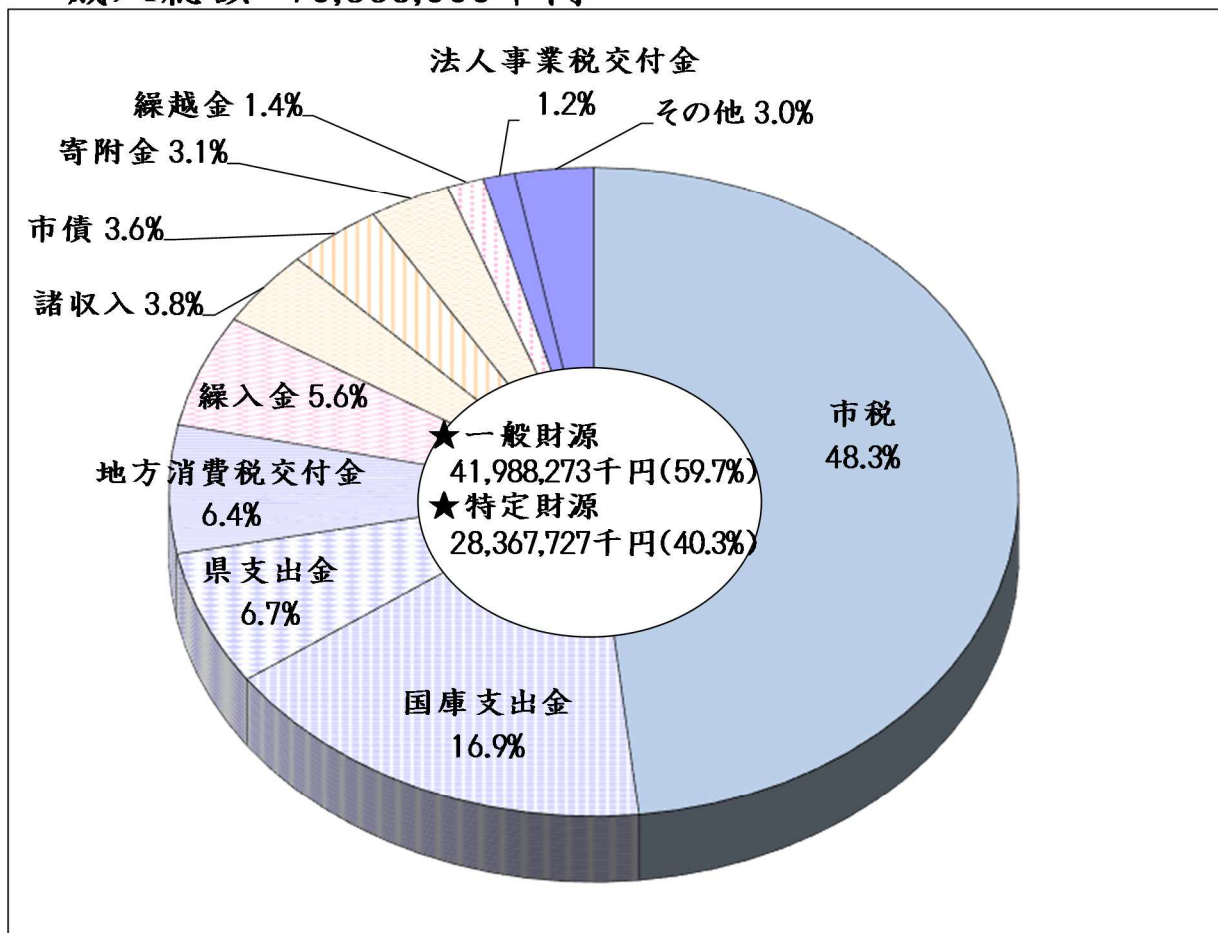
主な要因は、消防指令センター共同運用事業の増などによります。

- 教育費が、対前年度当初比 8.7%、8 億 4,000 万円余の増となりました。

主な要因は、米野小学校改築事業の増などによります。

令和7年度小牧市一般会計当初予算

歳入総額 70,356,000千円



歳出総額 70,356,000千円

